



Microsoft 365 アップセルガイド

2025年版

お客様の課題



リアルタイム コラボレーション

場所を問わず、だれとでも業務を遂行する必要がある

チーム文化とコミュニケーション方法の変化

効率を維持し、ビジネス パートナーや顧客と常につながる

働き方を変革し、日々の業務やコラボレーションにデジタル製品を活用。



セキュリティ

サイバー攻撃とフィッシング攻撃のリスク

最小限のセキュリティで無料または消費者向けソリューションを使用する従業員

個人用デバイスから業務データにアクセスする従業員

サイバーセキュリティ強化の必要性を認識。



コスト

既存ソリューションが相互に連携していない

コスト削減のニーズの高まり

シンプルな環境や管理への要望

IT 部門の業務と IT ツールの簡素化およびコストの削減が不可欠。

従来のソリューションでは、課題を解決できない。
複数ベンダーが混在する環境で、複雑さが増している。

市場のトレンドと Microsoft 365 のメリット

Microsoft 365 は、安全でコスト効率に優れた信頼できるクラウド ソリューションです。リアルタイムのコラボレーションを実現し、場所を問わずセキュアな作業環境を提供します。高度なセキュリティオプションを利用できる Microsoft Teams、クラウドストレージ、お馴染みの Office アプリが含まれており、チャット、通話、オンライン会議、リアルタイムの共同作業などを行うことができます。

デジタル戦略にフォーカス

従業員の **60%** は、ハイブリッドワークの採用を求めており、それが認められない場合、**33%** の従業員は離職の意思を示している



リアルタイムのコラボレーション ツールで、**従業員主導のトランスフォーメーションを実現**

セキュリティが最優先事項

中堅・中小企業の **65%** が、過去 12 か月に 1 回以上のサイバー攻撃を受けている



信頼できるテクノロジーで**ビジネスを保護**

財務基盤の安定強化

中堅・中小企業の **45%** が、現在の財務状態で負債を返済できるか不安を感じている



節減能力を向上して**コストを抑制**

販売製品

クラウド サービス



Exchange



Teams



SharePoint



OneDrive



Forms



Web 版 Word、
Excel、PowerPoint



Planner



Power Automate
と Power Apps



Bookings

デスクトップ アプリケーション



Outlook



Word



Excel



PowerPoint



Publisher
(PC 版のみ)



Access
(PC 版のみ)

高度なセキュリティと デバイス管理



Microsoft
Intune



Information
Protection



条件付き
アクセス



Azure Virtual
Desktop



Microsoft
Defender
for Business



Defender for
Office 365



Cloud App
Discovery

生成 AI



Microsoft 365 ポートフォリオ

最初にお客様のタイプを特定する



コンシューマー



家庭向け



Microsoft 365 Personal



中小企業
(従業員数
300 人未満)



一般法人向け



Microsoft 365 Business Basic
Microsoft 365 Business Standard
Microsoft 365 Business Premium



大企業
(従業員数
300 人以上)



大企業向け



Office 365 E1
Office 365 E3/EMS E3/Windows E3
Office 365 E5/EMS E5/Windows E5
Microsoft 365 E3
Microsoft 365 E5



現場の最前線



現場担当者向け



Microsoft 365 F1
Microsoft 365 F3



教育機関



教育機関向け

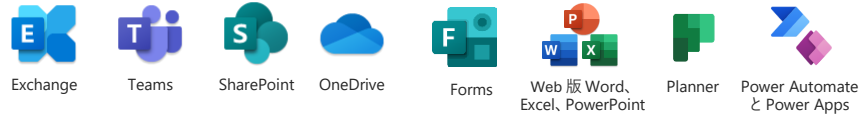


Microsoft 365 A1
Microsoft 365 A3
Microsoft 365 A5

中小企業に最適な SKU

Microsoft 365 Business Basic

クラウド サービス



Microsoft 365 Apps

デスクトップ アプリケーション (+ OneDrive)



Microsoft 365 Business Standard

クラウド サービス

デスクトップ アプリケーション

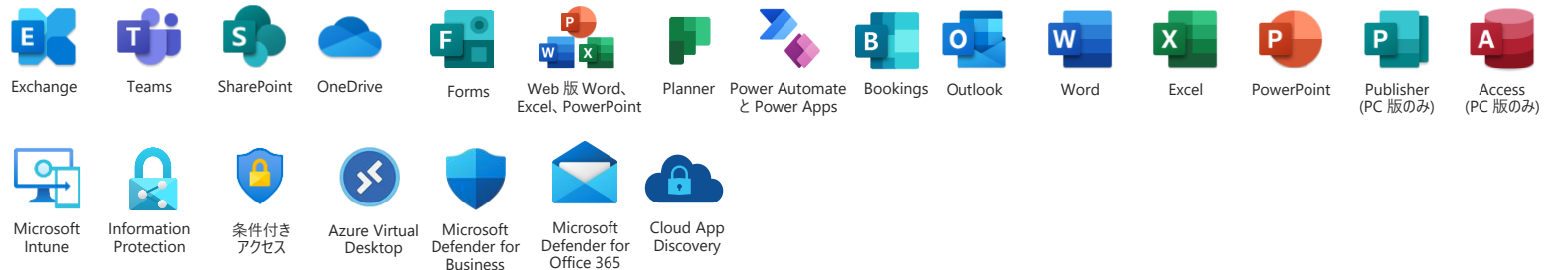


Microsoft 365 Business Premium

クラウド サービス

デスクトップ アプリケーション

高度なセキュリティとデバイス管理



Microsoft 365 Copilot

Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Teams などのアプリ内で使える生成型 AI



さまざまな 優れた機能

Microsoft 365 for business



Power
Automate

ビジネス プロセスを自動化

既存のアプリにコーディングなしで優れたワークフロー自動化機能を直接作成。数百の一般的なアプリやサービスと連携可能。



Power Apps

カスタムの開発アプリでプロセスを合理化

数か月かかっていたアプリ開発を、数時間に短縮。手軽にデータに接続して、Excel 関数のようにロジックを追加。アプリは Web や iOS/Android デバイスで動作。



Bookings

スケジュール管理を自動化

カスタマイズが容易なツールで、スケジュール管理を効率化。スタッフのスケジュール管理をサポートし、ダブルブッキングの発生を回避。Web ページの操作も簡単で、いつでも予定の検索、設定が可能。



Project for
the web

複数のプロジェクトを一元的に管理

プロジェクトの目的と担当者を明確に管理。小規模プロジェクトから大規模な取り組みまで対応可能。使いやすい優れたアプリで、プロジェクト管理、キャンペーン管理、オフィス移転、イベント計画を実現。Microsoft 365 Business Basic、Standard、Premium では、読み取り専用の Project for the web を利用可能。



Planner

個人とチームのタスクを管理

直感的でコラボレーションしやすい視覚的なタスク管理で、チームワークを発揮。ファイル、チェック リスト、ラベルなどのコンテンツが充実したタスク カードで、カンバンボードを作成。Planner と Microsoft Teams でコラボレーションを行い、Microsoft クラウドから視覚的なステータス チャートを通じてすべてをチェック。



Viva インサイト

個人の生産性とウェルビーイングを向上

データ主導のプライバシーに配慮したインサイトや推奨事項により、生産性とウェルビーイングを向上。より良い仕事の習慣が身に付く方法が見つかる。ミーティングの効果を追跡して質を高める。作業に集中する時間の設定など、実践的なアドバイスを活用してウェルビーイングを向上。

セキュリティ機能

Microsoft 365 Business Premium



Microsoft Intune

PC、Mac、Android、iOS デバイスを管理

Microsoft Intune と Configuration Manager により、統合管理プラットフォーム内でエンドポイント セキュリティ、デバイス管理、インテリジェントなクラウド アクションの機能を利用。既存のプロセスに影響を与えることなく、すべてのユーザー、アプリ、デバイスの保護、展開、管理をサポート。



Information Protection

安全なデータを使ったコラボレーション

Microsoft 365 の Azure Information Protection は、不正アクセスから重要な情報を保護すると共に、データのセキュリティを強化するポリシーを適用して、安全なコラボレーションを推進。



条件付きアクセス

アクセス制御の設定と管理

Azure Active Directory の機能の 1 つで、特定の条件と一元的な管理により、環境内のすべてのアプリケーションにアクセス制御を適用。



Windows Virtual Desktop

場所を選ばず柔軟に働く

どこにいてもあらゆるデバイスで Windows 11 デスクトップを利用。Windows 11 と Office 365 に完全に最適化されたソリューションにより、優れた仮想エクスペリエンスを提供。



Microsoft Defender for Business

企業のデバイスと従業員が個人で所有するデバイスを保護

マルウェア対策、ウイルス対策、ランサムウェア抑制、Web およびネットワークの保護機能などにより、脅威を防いでデバイスを保護。企業にとって最も緊急度が高く重大なリスクとなる脆弱性を優先的かつ集中的に対処。行動ベースのアラートと、検知、調査、対処の自動化を実施。



Microsoft Defender for Office 365

外部の脅威からメールを保護

Microsoft Defender for Office 365 が提供する包括的なソリューションでは、標的型の高度なゼロデイ攻撃 (フィッシング、マルウェア、ビジネス メールを装ったサイバー攻撃) から組織や従業員を保護。



Cloud App Discovery

すべてのクラウド サービスのセキュリティを確保

クラウド アクセス セキュリティ ブロカー (CASB) である Microsoft Cloud App Discovery により、クラウド サービス全体における脅威を特定し対処。

アップセル シナリオ | ビジネス SKU の概要

Microsoft 365 Business Basic

Microsoft 365 Business Standard



| 現在 | Exchange Online (599円/月) ※ | Microsoft 365 Business Basic (899円/月) ※ | Microsoft 365 Apps for Business (1,236円/月) ※ | Microsoft 365 Business Standard (1,874円/月) ※ | Office 365 E3 Teamsなし (3,110円/月) ※ |
|---------|--|--|---|---|---|
| 追加される価値 | <p>チャット、通話、ビデオ会議を通じてチームや顧客とつながり、コラボレーションするためのチームワークハブを構築。</p> <p>Web版のOfficeアプリ (Outlook、Word、Excel、PowerPoint、OneNote) の利用。</p> <p>ユーザーあたり1TBのクラウドファイルストレージにファイルを保存、共有。</p> <p>リアルタイムのファイル共同編集、作業進捗の自動保存のほか、バックアップを保持して必要に応じて旧バージョンを復元。</p> <p>フォーム、アンケート、投票をシンプルに構築。</p> <p>個人/グループのタスクをTeamsと連携したPlannerで管理。</p> <p>コーディングスキルなしで、プロセスの自動化やアプリ開発が可能。</p> | <p>AI搭載のデスクトップアプリをクラウドサービスに接続。常に最新バージョンを利用可能。</p> <p>最大5台のPC/Mac、最大5台のタブレット、最大5台のモバイルデバイスにインストール可能。</p> <p>エディター、デザイナー、タップ、Presenter Coachで、高品質のコンテンツを作成。</p> <p>音声入力、リサーチツール、画像からのデータ挿入などの機能で作業のスピードをアップ。</p> <p>リアルタイムの共同編集機能、@メンション、TeamsとOfficeアプリの連携機能により、複数のアプリにまたがるコラボレーションが可能。</p> <p>バージョン履歴の機能、共有アイテム、未読ハイライトにより、常に最新の状態を把握。</p> <p>新しいデータ型、アイデア、XLOOKUPを活用して、視覚化されたインサイトを作成。</p> <p>スケジュール管理を効率化し、作業進捗を自動で追跡。</p> | <p>50GBのメールボックスとカスタムドメインでメールを使用。場所やデバイスに関係なくメールや予定表を管理。</p> <p>チャット、通話、ビデオ会議を通じてチームや顧客とつながり、コラボレーションするためのチームワークハブを構築。</p> <p>Web版のOfficeアプリ (Outlook、Word、Excel、PowerPoint、OneNote) の利用。</p> <p>フォーム、アンケート、投票をシンプルに構築。</p> <p>個人/グループのタスクをTeamsと連携したPlannerで管理。</p> <p>コーディングスキルなしで、プロセスの自動化やアプリ開発が可能。</p> <p>スケジュール管理を効率化し、作業進捗を自動で追跡。</p> | <p>巧妙なマルウェア、フィッシング、ランサムウェアへの対策で高度なサイバー攻撃からビジネスを保護。</p> <p>暗号化、条件付きアクセス、セルフパスワードリセットにより、機密情報へのアクセスを制御。</p> <p>コピー/貼り付け/転送の制限、データ損失防止ポリシーの適用を通じて、事故や故意のデータ漏洩を防ぐ。</p> <p>データにつながるデバイスを保護し、iOS、Android、Windows、Macを搭載したデバイスを安全な最新の状態に維持 (MAM/MDM)。紛失および盗難デバイスのデータをリモートで消去。Autopilotにより、Windowsデバイスをリモート展開。</p> <p>組織全体を通じ、導入しているクラウドアプリのリスクを詳細に把握し、アプリを管理。</p> <p>セキュアな仮想Windowsデスクトップ環境にリモートでアクセス。</p> | <p>巧妙なマルウェア、フィッシング、ランサムウェアへの対策で高度なサイバー攻撃からビジネスを保護。</p> <p>暗号化、条件付きアクセス、セルフパスワードリセットにより、機密情報へのアクセスを制御。</p> <p>コピー/貼り付け/転送の制限、データ損失防止ポリシーの適用を通じて、事故や故意のデータ漏洩を防ぐ。</p> <p>データにつながるデバイスを保護し、iOS、Android、Windows、Macを搭載したデバイスを安全な最新の状態に維持 (MAM/MDM)。紛失したデバイスや盗難に遭ったデバイスのデータをリモートで消去。Autopilotにより、Windowsデバイスをリモート展開。</p> <p>組織全体を通じ、導入しているクラウドアプリのリスクを詳細に把握し、アプリを管理。</p> <p>セキュアな仮想Windowsデスクトップ環境にリモートでアクセス。</p> |
| | 変更後 | Microsoft 365 Business Basic (899円/月) ※ | Microsoft 365 Business Standard (1,874円/月) ※ | Microsoft 365 Business Standard (1,874円/月) ※ | Microsoft 365 Business Premium (3,298円/月) ※ |

アップセルのシナリオ

現在

Exchange Online



Exchange

変更後

Microsoft 365 Business Basic



Exchange



Teams



SharePoint



Forms



Planner



Power Automate
と Power Apps



OneDrive



Stream

目的

お客様がアップグレードすべき理由

生産性

- ▶ 紙で保存したり、オンプレミスのファイル ストレージ サーバーに保存したりしている。ファイル検索は困難であり、社内ネットワークへのアクセスが必要である。
- ▶ ファイルの作業中に進捗を保存し忘れて、情報を失うことがある。
- ▶ メールに添付してドキュメントを共有しているため、ドキュメントを編集している相手の返信を待つ必要がある。受信トレイの容量を増やすのに追加料金が発生する。
- ▶ OneDrive を知らず、Dropbox などの有料のサードパーティ クラウド ストレージ アプリを使用している。

タスク管理

- ▶ スケジュールを管理したり、重要なタスクを忘れないようにしたりするのに、紙の To-Do リストを使用している。
- ▶ プロジェクト メンバーにタスクを割り当てたり、作業の進捗や完了状況を追跡したりするのに、ホワイトボードや付箋を使用している可能性がある。

コミュニケーション

- ▶ チャットは WhatsApp、ビデオ会議は Zoom など、ユーザー エクスペリエンスが統一されていない複数のアプリケーションを使用している。
- ▶ 複数のベンダーを扱うため、アプリケーション管理、セキュリティ維持、データや機密情報の保存場所の管理が困難。
- ▶ 社内の固定回線で電話を受けるようにしているため、COVID-19 ロックダウン中の事業継続に支障が生じている。
- ▶ 電話応答、別部署への通話転送、留守番電話を利用するため、オンプレミスの PBX (構内交換機) に料金が発生している。ハードウェアやソフトウェアのメンテナンス コストが発生する。

カスタマー インサイト

- ▶ 顧客の口頭でのフィードバックに基づいて必要のない改善を行おうとしている。
- ▶ 顧客のフィードバックを集めるのに、有料サードパーティ アプリケーションを利用している。

得られる価値

Microsoft 365 Business Basic から得られる価値



Teams

シームレスな連携

ビデオ会議、画面共有、背景のカスタマイズ、Together モード、ファイル共有とコラボレーション、アプリ統合、ワークフローの自動化、組み込みのプライバシーとセキュリティの機能を提供する単一のアプリで、チャット、ミーティング、通話、コラボレーションが可能。



SharePoint

どこからでもコラボレーション。

どこからでもアクセスでき、インテリジェント機能を組み込んだ社内ネットワークを提供。コンテンツ、ナレッジ、アプリケーションを共有、管理して、チームワークの強化、情報のすばやい検索、組織全体でのシームレスなコラボレーションを実現。



OneDrive

あらゆるデバイスのセキュリティを確保

ユーザーあたり 1TB のストレージを利用可能。インテリジェントなファイル アプリで、仕事や学校の作業を保護。デバイスや場所を選ばず情報共有やコラボレーションが可能。ファイルのバックアップ、保護、リカバリーにより、事故や悪意のある攻撃に備える。



Web 版 Word、
Excel、PowerPoint

使い慣れた信頼できるアプリ

どこにいてもお好みのブラウザで、Word、Excel、PowerPoint を利用できる。使い慣れた信頼できる Office エクスペリエンス。だれとでもドキュメントを共有でき、リアルタイムのコラボレーションが可能。



Forms

AI を活用して優位性を確保

投票やアンケート、クイズなどに使える利用しやすいフォームで、データの収集や質の高い意思決定を支援。AI による開発で、手間のかかる作業に対処するためのスマートなアドバイスを提供。優れたリアルタイムのチャートと自動生成されるレポートにより、数秒でデータを視覚化。



Planner

常にチームをまとめる

直感的でコラボレーションしやすい視覚的なタスク管理で、チームワークを発揮。ファイル、チェック リスト、ラベルなどのコンテンツが充実したタスク カードで、かんばんボードを作成。Planner と Microsoft Teams でコラボレーションを行い、マイクロソフトのクラウドから視覚的なタスク チャートを通じてすべてをチェック。



Power Automate
と Power Apps

常につながる環境で時間を節約

既存のアプリに、コーディングなしで優れたワークフロー自動化機能を直接作成。数百の一般的なアプリやサービスと連携可能。数か月かかっていたアプリ開発を数時間に短縮。手軽にデータに接続して、Excel 関数のようにロジックを追加。アプリは Web や iOS/Android デバイスで動作。

適切な質問

従業員はあらゆる場所で働くことが可能ですか。

- ▶ 一元的なリポジトリを構築すれば、どこにいても同じ場所にあるファイルにアクセスできます。
- ▶ Microsoft Teams の中で Word、Excel、PowerPoint ファイルを共有、編集、共同編集できます。
- ▶ あらゆるデバイスで利用できる、インテリジェントなメールや予定表の機能を提供します。

チームメンバーや顧客と、どのようにリモート会議を行っていますか。

- ▶ 社内外のユーザーとオンライン会議やハイブリッド会議を開催できます。
- ▶ スケジュール アシスタント、画面共有、共同メモ ツールを使用すれば、会議が楽になります。
- ▶ 背景のぼかしやカスタマイズ、49 人まで表示できるラージ ギャラリー ビューなどのオプションを使用すれば、だれでも柔軟に会議に参加できます。
- ▶ Microsoft Teams のクラウドベースの電話システムを使用すれば、どこにいても通話できます (Microsoft 365 Business Basic のアドオン ライセンスが必要)。

現在、生産性ソリューションにどれくらいのコストをかけていますか。

- ▶ オンプレミスのインフラストラクチャの場合、ハードウェア、ライセンス、メンテナンスのコストが発生します。
- ▶ Google Workspace Business Starter (Microsoft 365 Business Basic に相当) では、21% コストが高くなります*。
- ▶ ポイント ソリューションは非常に高額です。一方、Microsoft 365 はベスト オブ ブリードの優れたプラットフォームであり、統合によりコストを削減できます。

¹ [Google Workspace Starter](#) (ストレージ: 30 GB、ビデオ会議の参加人数: 100 人)。Standard (ストレージ: 2 TB、ビデオ会議の参加人数: 150 人) - 2021 年 8 月

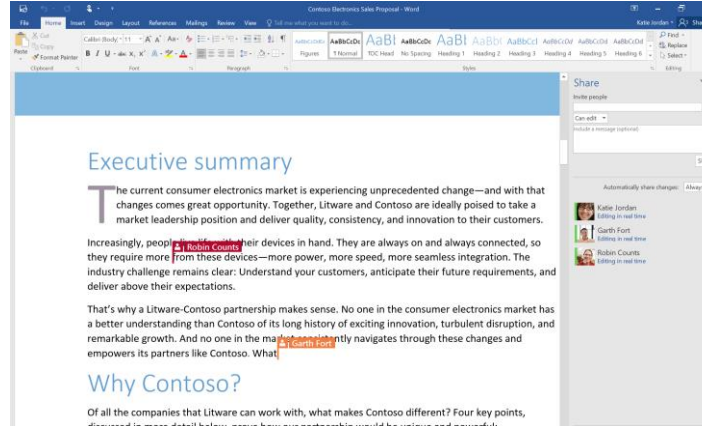
提案のポイント: 生産性



ファイル ストレージと共有

紙文化を廃止し、ファイルをクラウドに保存。クラウドならどこからでもファイルにアクセスでき、安心してファイルを共有可能。

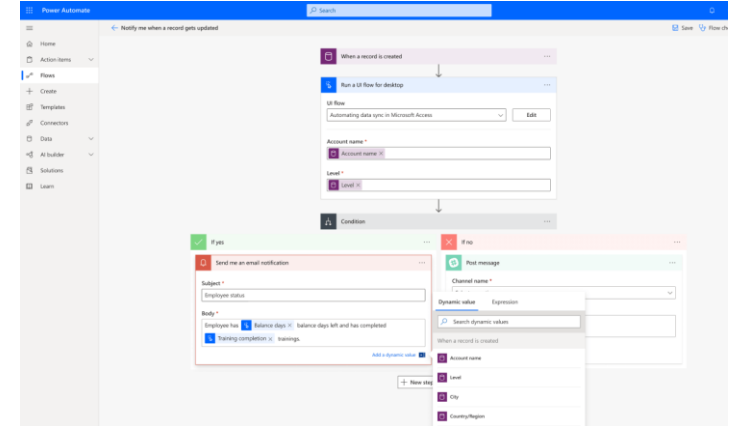
ファイルのバージョンを1つに保つため、メールに添付せずリンクで共有。旧バージョンはワンクリックで復元可能。



Office アプリ (Web のみ)

ブラウザ上で、他のユーザーとリアルタイムで直接ドキュメントを共同編集。

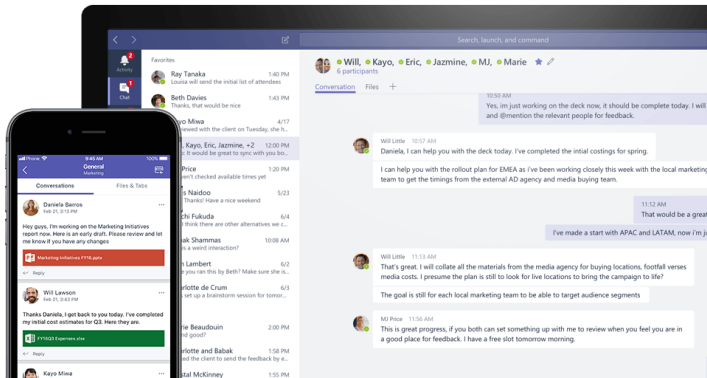
PowerPoint のデザイナーや Presenter Coach、Word のエディター、Excel のデータ分析などのような AI ベースの機能を活用。



プロセスの自動化

さまざまな人気アプリやサービスと連携でき、コーディングの知識がなくても既存のアプリに直接組み込める強力なワークフローの自動化機能により、反復作業にかかる時間を削減。

提案のポイント: コミュニケーション



1対1またはグループでのチャット

1対1およびグループでのチャットを使用し、協力してイノベーションを加速。

同僚やクライアントとの会話に参加できる。

チームやチャンネルごとに業務を整理。

会話中に、会議メモ、ファイル、ダッシュボード、アプリを共有。



オンラインまたはハイブリッドの会議

スケジュールアシスタント、画面共有、共同のメモ機能を使用して、社内外のだれとでもオンラインやハイブリッドの会議を開催。

背景のぼかしやカスタマイズ、リアルタイムの字幕、文字起こしのオプションに加え、ラージギャラリービューで49人の参加者を同時に表示できるオプションにより、ビデオ通話を通じ、柔軟でインクルーシブな環境を実現。



通話機能 (アドオンとして利用可能)¹

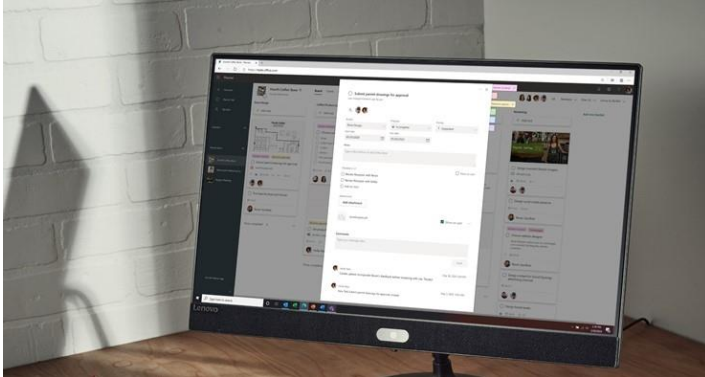
Teamsのクラウドベースの電話システムを使って、どこからでも通話可能。

コンサルティブ転送、保留音、クラウドボイスメールなどのクラウド通話の機能を利用。

電話会議の参加者のインターネット接続に問題があるときに、電話会議用のダイヤルイン番号を追加。

¹ Teams Phone Standardで有効化

提案のポイント: コラボレーション



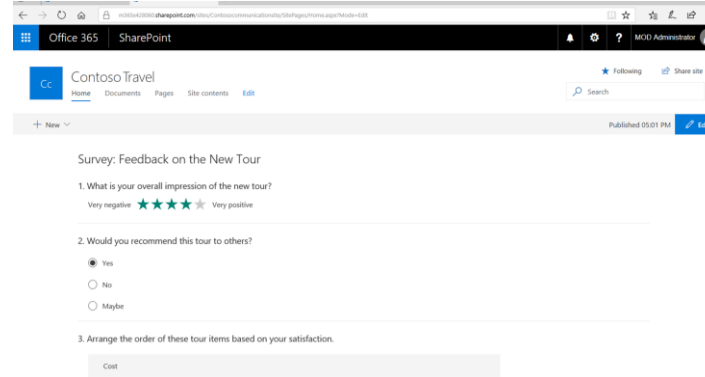
プロジェクトとタスクの管理

スレッド形式の会話、ミーティング、ファイルを Microsoft Teams のチャンネルで共有し、ビジネス範囲やプロジェクトをまとめる。

新しいプランの作成、既存プランの詳細な分析、タスクの進捗状況の把握。

個々のチームメンバーにタスクを割り当て、期限を守れるよう、進捗を管理。

ディスカッションの内容や成果物を計画に沿って保存し、異なるアプリケーション中に閉じ込めたままにしない。



インサイトの生成

アンケートやクイズ、投票調査を数分で作成し、送信。

データの収集手段としてフォームを活用し、プロセスを自動化。

自動チャートと利用が簡単なフィルタリング機能で、ビジネスインサイトをリアルタイムで収集。



安全かつ容易な コラボレーション

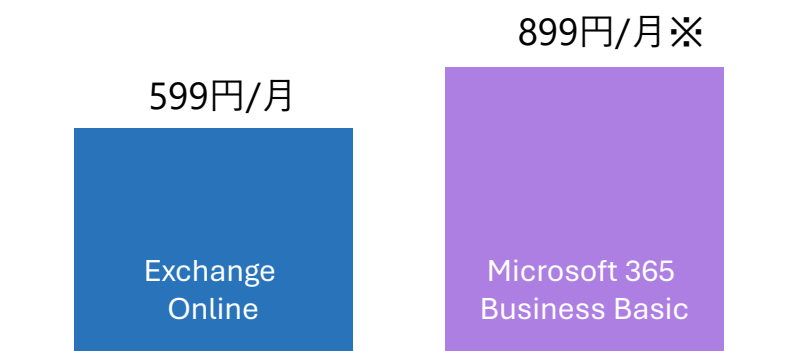
Microsoft Teams のデスクトップ、Web、モバイルアプリで、どこからでもコンテンツにアクセスして共有する

社内ユーザーと連携したり、簡単で安全なゲストアクセスを通じて社外ユーザーとつながったりできる。

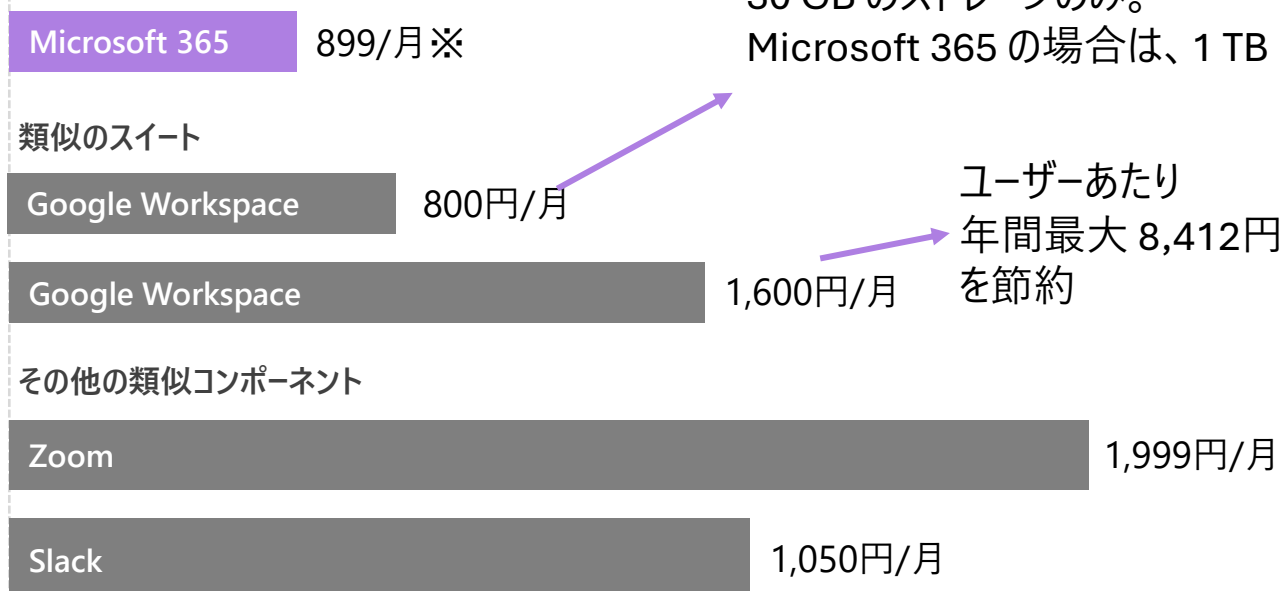
デジタル資産の保護と保持ポリシーにより、ビジネスや法規制の要件に対応。

料金の比較

Exchange Online から
Microsoft 365 Business Basic に
ステップアップする場合、
ユーザーあたり月額わずか
300円の増加



代替ソリューション



¹ Google Workspace Starter (ストレージ: 30 GB、ビデオ会議の参加人数: 100 人)。Standard (ストレージ: 2 TB、ビデオ会議参加人数: 150 人) - 2025 年 1 月

² Zoom Business (会議参加人数: 最大 100 人、トランスクリプトのレコーディングに対応) - 2025 年 1 月

³ Slack Business+ (シングルサインオン、コンプライアンス、サポート) - 2025 年 1 月

反論への対処方法

質疑応答

Q: 市場情勢が大きく変化している現在、新しいツールを導入すべきかわからない。

- ▶ 市場情勢の変化により、多くの企業がリモートワークで生産性を維持するソリューションを模索しています。これは、業務効率化およびセキュリティツールを導入する絶好の機会です。Microsoft 365 Business Basic なら、ユーザーあたりの月額コストで見た場合、Exchange Online の希望小売価格よりも 250円* を追加するだけで、場所を選ばず効率的に業務を進めるために不可欠な生産性ソリューションを統合できます。

Q: これまでソフトウェアを一括で購入していたため、サブスクリプションベースの料金体系に不安がある。サブスクリプションが本当に必要なかわからない。

- ▶ サブスクリプションベースのクラウドサービスは、ローカルにインストールするソフトウェアよりもお得です。たとえば、定期的な更新プログラムによって最新の機能とセキュリティパッチを利用できるほか、キャッシュフローのニーズに合わせて月額や年額の支払いを柔軟に選択できます。

* 2023年 4月時点の料金。最新の料金は <https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/business> をご確認ください。

アップセルのシナリオ

現在

Microsoft 365 Business Basic



Exchange



Teams



SharePoint



Forms



Planner



Power Automate
& Power Apps



OneDrive



Stream

変更後

Microsoft 365 Business Standard



Exchange



Teams



SharePoint



Forms



Planner



Power Automate
& Power Apps



OneDrive



Stream



Outlook



Word



Excel



PowerPoint



Publisher
(PC 版のみ)



Access
(PC 版のみ)



Bookings



Yammer



MyAnalytics

目的

お客様がアップグレードすべき理由



生産性

- ▶ 生産性を高める AI 機能を搭載していない旧バージョンの Office を利用している。
- ▶ 頻繁にファイルを保存しなければ、最新の作業内容を失うリスクがあり、ストレスになっている。
- ▶ Web 版の Office の機能では対応できないニーズ (Word の変更履歴、Excel の PowerPivot 機能、Excel グラフの PowerPoint への埋め込みなど) がある。
- ▶ フライト中など、オフラインの状態でも、メールを読んだり、メールの下書きを書いたりしたい。



スケジュール管理

- ▶ 電話やメールでのスケジュール管理に時間がかかっている。
- ▶ 予定のリマインド機能がなく、再スケジュールやキャンセルも難しいため、顧客に会うことができず機会を損失。
- ▶ 複数のチームメンバーとの予定の調整が難しい。
- ▶ サードパーティのブッキング サービスに高額の料金を支払っている。

ウェビナー

- ▶ オンライン ウェビナーで、対応できる視聴者の数を柔軟に変更したい。
- ▶ Web 版の Outlook では、複数のメール アカウントや外部のメール プロバイダーと接続できない。

得られる価値

Microsoft 365 Business Standard から得られる価値



Outlook

各種の便利なツールで受信トレイを自在に操作

パーソナライズされたインテリジェントな受信トレイにより、重要なメールをグループ化し、重要度の高い案件を優先的に確認。すべての Office アプリと緊密に連携しているため、外出先でもドキュメントをすばやく表示、編集、共有できる。

デスクトップ版
Excel

最もシンプルにデータを表示、編集

ピボットテーブルを作成、編集、表示。新しいデータ型、アイデア、XLOOKUP などの機能を活用して、インサイトを作成。

デスクトップ版
PowerPoint

編集、デザイン、アニメーションの機能をフル活用

エディター、デザイナー、タブ、Presenter Coach でコンテンツを強化。カスタマイズ可能なさまざまなアニメーションを選択可能。テキストや図形の豊富なフォーマット オプションを利用。

デスクトップ版
Word

作業をサポートするさまざまな機能

キャプション、引用、参考文献を追加できる。ドキュメントの統合、比較、結合に対応する高度なコラボレーション機能を搭載。音声入力、リサーチ ツールなどの機能で作業効率をアップ。バージョン履歴の機能、共有アイテム、未読ハイライトにより、常に最新の状態を把握。

Publisher
(PC 版のみ)

ページレイアウトやデザインの優れた資料を作成可能

さまざまな目的に対応したカスタムの資料をデザイン、公開。

Access
(PC 版のみ)

データをシームレスに扱い、あらゆる形式で提示

数秒でデータベースを構築、共有。レポート機能やクエリを実行し、好みの形式でデータを出力。Access のコネクタ ライブラリを活用し、Access と基幹業務アプリの間でデータを連携。



Bookings

ダブルブッキングを撲滅

カスタマイズが容易なツールで、スケジュール管理を効率化。スタッフのスケジュール管理をサポートし、ダブルブッキングの発生を回避。Web ページの操作も簡単で、いつでも予定の検索、設定が可能。

適切な質問

従業員は Web 版の Office アプリでどのような作業をしていますか。

- ▶ デスクトップ版の機能に加え、Access (PC 版のみ) や Publisher (PC 版のみ) などのプログラムも利用できます。
- ▶ オフラインでも、ファイルにアクセスしたり、ファイルを編集したりできます。
- ▶ バージョン履歴の機能、共有アイテム、未読ハイライトにより、常に最新の状態を把握できます。

現在、スケジュールはどのように管理していますか。

- ▶ スケジュール管理の反復作業を減らすことで、顧客対応により多くの時間を充てられます。
- ▶ 設定が容易でカスタマイズ可能な Web ページで、スケジュールを管理できます。
- ▶ ページのデザインや予定項目の詳細など、Bookings の予定表のほぼすべての要素が、カスタマイズ可能です。

現在、ソリューションにどれくらいの料金を支払っていますか。

- ▶ Microsoft 365 Business Standard にアップグレードすれば、サードパーティのブッキング サービスのサブスクリプションは必要なくなります。

提案のポイント: 高度な生産性



デスクトップでの Office の利用

デスクトップ アプリは、ユーザー 1 人あたりで、最大 5 台の Windows PC または Mac、最大 5 台のタブレット、最大 5 台のモバイル デバイスにインストール可能。

エディター、デザイナー、タップ、Presenter Coach で、より容易にコンテンツを作成できる。

音声入力、リサーチ ツール、画像からのデータ挿入などの機能で作業のスピードをアップ。



スケジュール管理を効率化

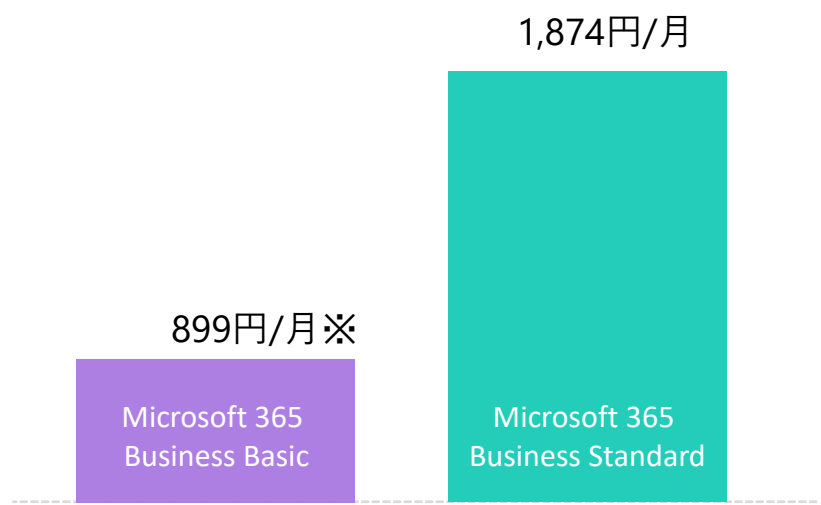
組織のあらゆるレベルで Bookings アプリを活用してスケジュールを管理できる。

Office の予定表との連携で空き時間をすばやく検索し、スタッフのダブルブッキングを防ぐ。

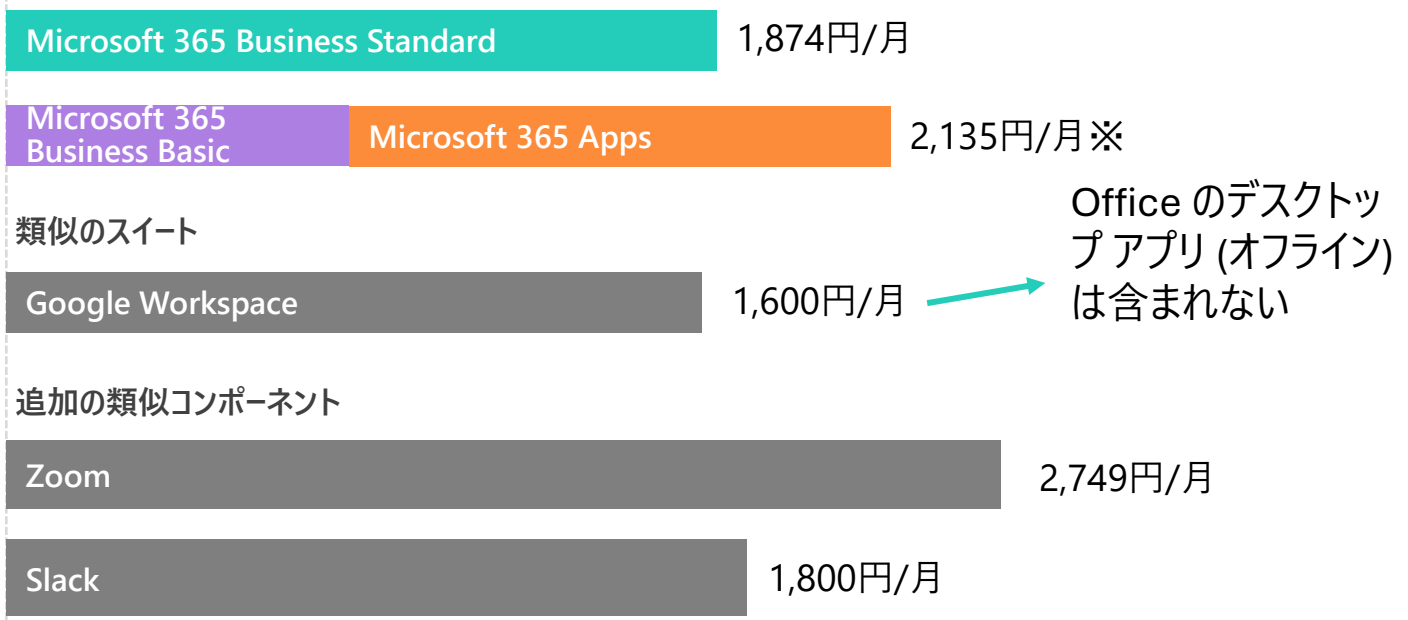
リマインダーや再スケジュールリングのオプションを活用し、当日のキャンセルなどの状況を回避する。

料金の比較

Microsoft 365 Business Basic から Microsoft 365 Business Standard にステップ アップする場合、ユーザーあたり月額 975円[※]の増加



代替ソリューション



¹ Google Workspace Standard (ストレージ: 2 TB、ビデオ会議の参加人数: 150 人) - 2025 年 1 月
² Zoom Business (会議の参加人数: 最大 300 人、トランスクリプトのレコーディングに対応) - 2025 年 1 月
³ Slack Business+ (シングル サインオン、コンプライアンス、サポート) - 2025 年 1 月

反論への対処方法

質疑応答

トレーニングや実装コストがどれくらいかかるのか心配している。

- ▶ Office との統合により、Word、Excel、PowerPoint、Outlook など、使い慣れた Office アプリを使用できます。従業員が簡単にリモートワークを行えるように新しいソフトウェアを導入することは、現在の経済情勢の中で生産性を維持するために不可欠です。その他のサポートや学習リソースが必要なお客様には 365 塾 (<https://aka.ms/365juku>)を案内してください。

これまでソフトウェアを一括で購入していたため、サブスクリプションベースの料金体系に不安がある。 サブスクリプションが本当に必要なのかわからない。

- ▶ サブスクリプションベースのクラウドサービスは、ローカルにインストールするソフトウェアよりもお得です。たとえば、定期的な更新プログラムによって最新の機能とセキュリティパッチを利用できるほか、キャッシュフローのニーズに合わせて月額や年額の支払いを柔軟に選択できます。

アップセルのシナリオ

現在

Microsoft 365 Apps for Business



変更後

Microsoft 365 Business Standard



目的

お客様がアップグレードすべき理由



生産性

- ▶ ファイルのアクセスや編集に必要なアプリだけが用意されている。
- ▶ サービスを利用できるデバイスの数に制約がある。
- ▶ 独自ドメインのない、サードパーティのメール ホストに高額の料金を支払っている。



タスク管理

- ▶ スケジュール管理や、重要なタスクのリマインダーに、紙の To-Do リストを使用している。
- ▶ プロジェクト メンバーにタスクを割り当てたり、作業の進捗や完了状況を追跡したりするのに、ホワイトボードや付箋を使用している。



コミュニケーション

- ▶ チャットは WhatsApp、ビデオ会議は Zoom など、ユーザー エクスペリエンスが統一されていない複数のアプリケーションを使用している。
- ▶ 複数のベンダーを扱うため、アプリケーション管理、セキュリティ維持、データや機密情報の保存場所の管理が困難。
- ▶ 社内の固定回線で電話を受けるようにしているため、COVID-19 ロックダウン中の事業継続に支障が生じている。
- ▶ 電話応答、別部署への通話転送、留守番電話を利用するため、オンプレミスの PBX (構内交換機) に料金が発生している。ハードウェアやソフトウェアのメンテナンス コストが発生する。



カスタマー インサイト

- ▶ 顧客の口頭でのあてにならないフィードバックに基づいてカスタマーエクスペリエンスを高めようとしている。
- ▶ 顧客のフィードバックを集めるのに、有料サードパーティ アプリケーションを利用している。

得られる価値

Microsoft 365 Business Standard から得られる価値



Exchange

いつでもメールや予定表にアクセス可能

マイクロソフトの法人向けメール機能と予定表機能を利用してどこにいても安全に働く。



Teams

シームレスな連携

ビデオ会議、画面共有、背景のカスタマイズ、Together モード、ファイル共有とコラボレーション、アプリ統合、ワークフローの自動化、組み込みのプライバシーとセキュリティの機能を提供する単一のアプリで、チャット、ミーティング、通話、コラボレーションが可能。



SharePoint

場所を選ばないコラボレーション

どこからでもアクセスでき、インテリジェント機能を組み込んだ社内ネットワークを提供。コンテンツ、ナレッジ、アプリケーションを共有、管理して、チームワークの強化、情報のすばやい検索、組織全体でのシームレスなコラボレーションを実現。



OneDrive

あらゆるデバイスのセキュリティを確保

ユーザーあたり 1TB のストレージを利用可能。インテリジェントなファイル アプリで、仕事や学校の作業を保護。デバイスや場所を選ばず情報共有やコラボレーションが可能。ファイルのバックアップ、保護、リカバリーにより、事故や悪意のある攻撃に備える。



Forms

AI を活用して優位性を確保

投票、アンケート、クイズなどに使える利用しやすいフォームで、データの収集や質の高い意思決定を支援。組み込み AI により、手間のかかる作業に対処するためのスマートなアドバイスを提供。優れたリアルタイムのチャートと自動生成されるレポートにより、数秒でデータを視覚化。



Planner

チーム作業のセキュリティを維持。

直感的でコラボレーションしやすい視覚的なタスク管理で、チームワークを発揮。ファイル、チェックリスト、ラベルなどのコンテンツが充実したタスク カードで、かんばんボードを作成。Planner と Microsoft Teams でコラボレーションを行い、マイクロソフトのクラウドから視覚的なステータスチャートを通じてすべてをチェック。



Power Automate および Power Apps

常につながる環境で時間を節約

既存のアプリに、コーディングなしで優れたワークフロー自動化機能を直接作成。数百の一般的なアプリやサービスと連携可能。数か月かかっていたアプリ開発を数時間に短縮。手軽にデータに接続して、Excel 関数のようにロジックを追加。アプリは Web や iOS/Android デバイスで動作。



Bookings

ダブルブッキングを防止

カスタマイズが容易なツールで、スケジュール管理を効率化。スタッフのスケジュール管理をサポートし、ダブルブッキングの発生を回避。Web ページの操作も簡単で、いつでも予定の検索、設定が可能。

適切な質問

従業員はあらゆる場所で働くことが可能ですか。

- ▶ 一元的なリポジトリを構築すれば、どこにいても同じ場所にあるファイルにアクセスできます。
- ▶ Microsoft Teams の中で Word、Excel、PowerPoint ファイルを共有、編集、共同編集できます。
- ▶ あらゆるデバイスで利用できる、インテリジェントなメールや予定表の機能を提供します。

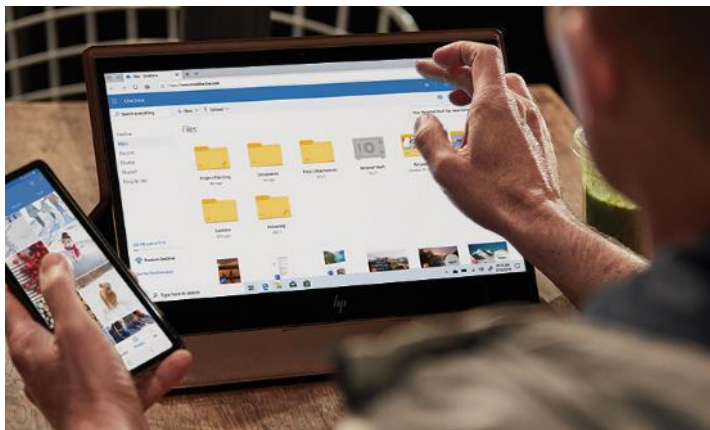
チームメンバーや顧客と、どのようにリモート会議を行っていますか。

- ▶ 社内外のユーザーとのオンライン会議を開催できます。
- ▶ スケジュール アシスタント、画面共有、共同メモ ツールを使用すれば、会議が楽になります。
- ▶ 背景のぼかしやカスタマイズ、49 人まで表示できるラージ ギャラリー ビューなどのオプションを使用すれば、だれでも柔軟に会議に参加できます。
- ▶ Microsoft Teams のクラウドベースの電話システムを使用すれば、どこにいても通話できます (Microsoft 365 Business Basic のアドオン ライセンスが必要)。

現在、ソリューションにどれくらいの料金を支払っていますか。

- ▶ オンプレミスのインフラストラクチャの場合、ハードウェア、ライセンス、メンテナンスのコストが発生します。
- ▶ ポイント ソリューションは非常に高額です。Microsoft 365 は最高の製品を組み合わせせた優れたプラットフォームであり、統合することでコストを削減します。

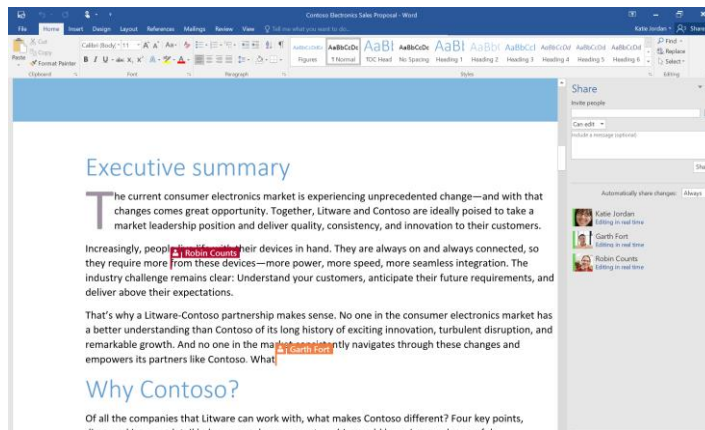
提案のポイント: 生産性



ファイル ストレージと共有

紙文化を廃止し、ファイルをクラウドに保存。クラウドならどこからでもファイルにアクセスでき、安心してファイルを共有可能。

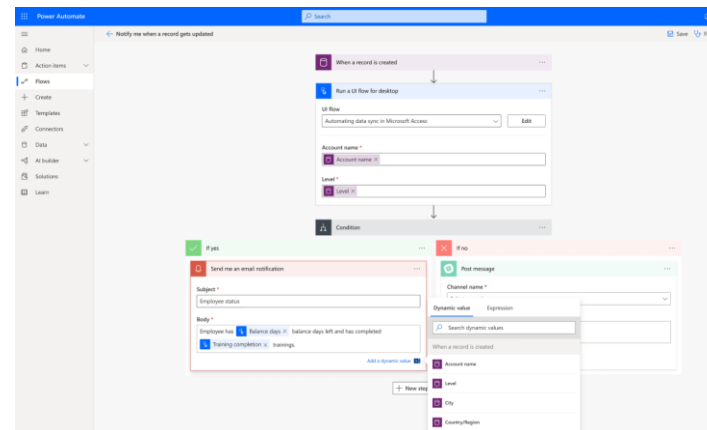
ファイルのバージョンを1つに保つため、メールに添付せずリンクで共有。旧バージョンはワンクリックで復元可能。



Office アプリ (Web のみ)

ブラウザ上で、他のユーザーとリアルタイムで直接ドキュメントを共同編集。

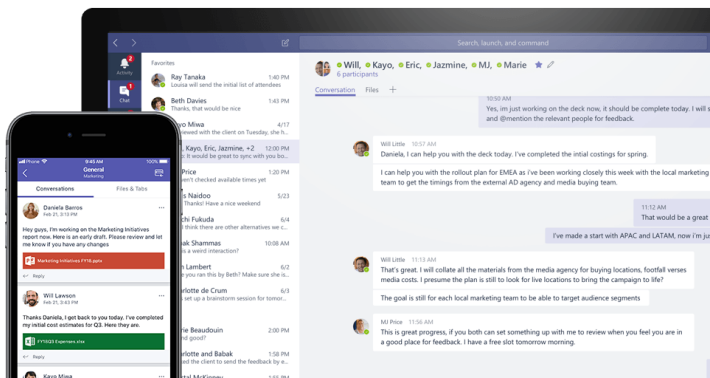
PowerPoint のデザイナーや Presenter Coach、Word のエディター、Excel のデータ分析などのような AI ベースの機能を活用。



プロセスの自動化

さまざまな人気アプリやサービスと連携でき、コーディングの知識がなくても既存のアプリに直接組み込める強力なワークフローの自動化機能により、反復作業にかかる時間を削減。

提案のポイント: コミュニケーション



1対1またはグループでのチャット

1対1およびグループでのチャットを使用し、協力してイノベーションを加速。

同僚やクライアントとの会話に参加。

チームやチャンネルごとに業務を整理。

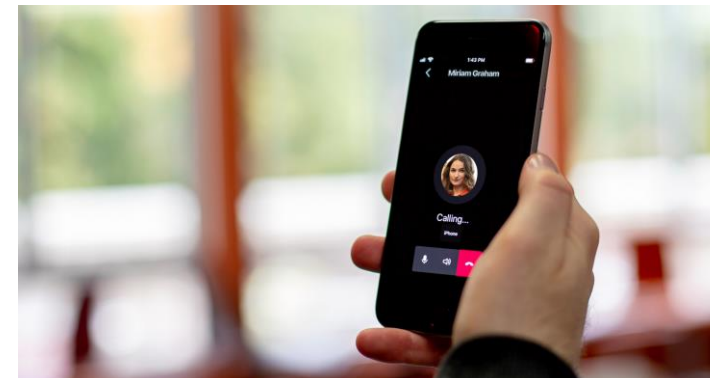
会話中に、会議メモ、ファイル、ダッシュボード、アプリを共有。



オンラインまたはハイブリッドの会議

スケジュールアシスタント、画面共有、共同のメモ機能を使用して、社内外のだれとでもオンラインやハイブリッドの会議を開催。

背景のぼかしやカスタマイズ、リアルタイムの字幕、文字起こし、ラージギャラリービューで49人の参加者を同時に表示できるオプションにより、ビデオ通話で柔軟かつインクルーシブな環境を実現。



通話機能 (アドオンとして利用可能)¹

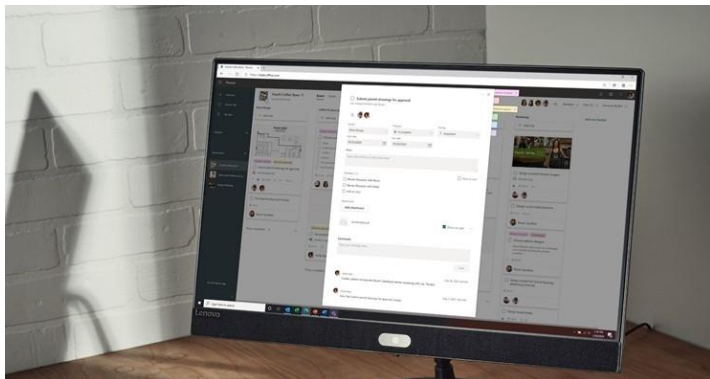
Teamsのクラウドベースの電話システムを使って、どこからでも通話可能。

コンサルティブ転送、保留音、クラウドボイスメールなどのクラウド通話の機能を利用。

電話会議の参加者のインターネット接続に問題があるときに、電話会議用のダイヤルイン番号を追加。

¹ Teams Phone Standardのアドオンライセンスが必要

提案のポイント: コラボレーション



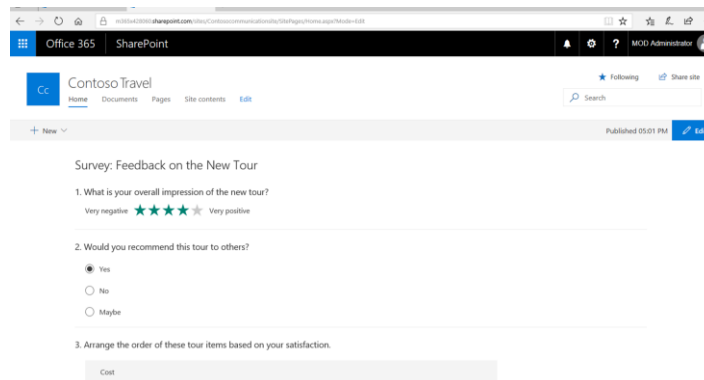
プロジェクトとタスクの管理

スレッド形式の会話、ミーティング、ファイルを Microsoft Teams のチャンネルで共有し、ビジネス範囲やプロジェクトをまとめる。

新しいプランの作成、既存プランの詳細な分析、タスクの進捗状況の把握。

個々のチームメンバーにタスクを割り当て、期限を守れるよう、進捗を管理。

ディスカッションの内容や成果物を計画に沿って保存し、異なるアプリケーション中に閉じ込めたままにしない。



インサイトの生成

アンケートやクイズ、投票調査を数分で作成し、送信。

データの収集手段としてフォームを活用し、プロセスを自動化。

自動チャートと利用が簡単なフィルタリング機能で、ビジネスインサイトをリアルタイムで収集。



安全かつ容易な コラボレーション

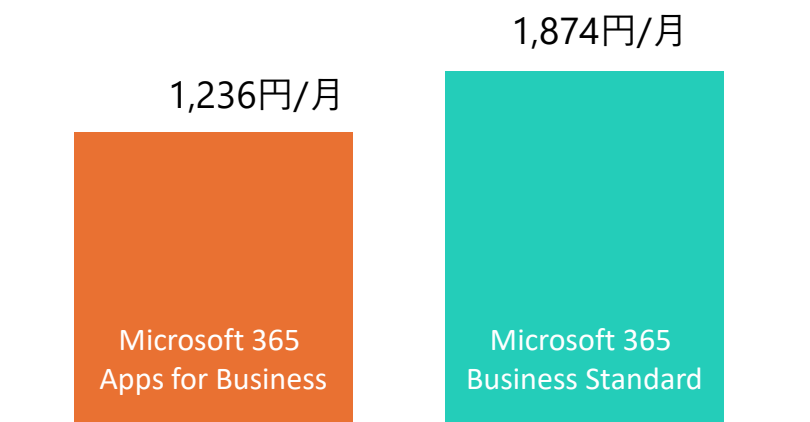
デスクトップ、Web、モバイルアプリ版の Microsoft Teams で、どこにいてもコンテンツを利用、共有できる。

社内ユーザーと連携したり、簡単で安全なゲストアクセスを通じて社外ユーザーとつながったりできる。

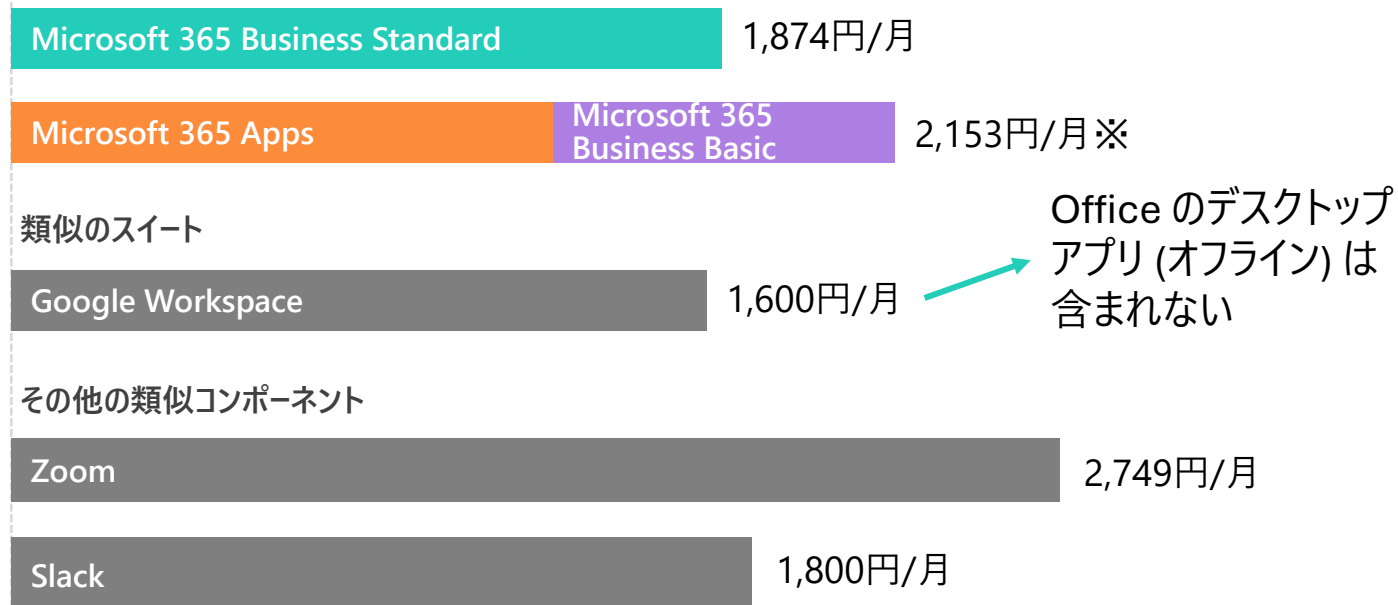
デジタル資産の保護と保持ポリシーにより、ビジネスや法規制の要件に対応。

料金の比較

Microsoft 365 Apps for Business から Microsoft 365 Business Standard にステップ アップする場合、ユーザーあたり月額 **638円**の増加



代替ソリューション



¹ Google Workspace Standard (ストレージ: 2 TB、ビデオ会議の参加人数: 150 人) - 2025 年 1 月

² Zoom Business (会議の参加人数: 最大 300 人、トランスクリプトのレコーディングに対応) - 2025 年 1 月

³ Slack Business+ (シングル サインオン、コンプライアンス、サポート) - 2025 年 1 月

反論への対処方法

現在、異なるベンダーの優れたソリューションを組み合わせて使用している。単一ベンダーに統合しなければならないのか。

- ▶ マイクロソフトは、Gartner、Forrester をはじめとする外部の業界エキスパートが認める最高の製品ソリューションだけでなく、最高のプラットフォーム ソリューションも提供しています。これにより、ユーザー エクスペリエンスと IT 管理を簡素化するだけでなく、ライセンス コストと運用コストの削減も実現しています。
- ▶ ばらばらなアプリを使用するよりも、統合された単一のソリューションで、効率的にビジネスを運用、拡大できます。テンプレートやインストール済みのアプリで機能豊富なコラボレーションスペースを作成し、作業をすばやく開始します。
- ▶ ベンダーを1つに集約すれば、ライセンス コストを抑えられるだけでなく、支払いを一本化してソフトウェア購入業務を簡素化し、複数のアプリを構成、管理する IT 部門の負担も軽減できます。
- ▶ Microsoft 365 は、場所を問わず利用できる完成されたプラットフォームを提供します。会議、チャット、通話、コラボレーションを1か所で行うことができ、セキュリティの高い優れた製品を安心してお使いいただけます。

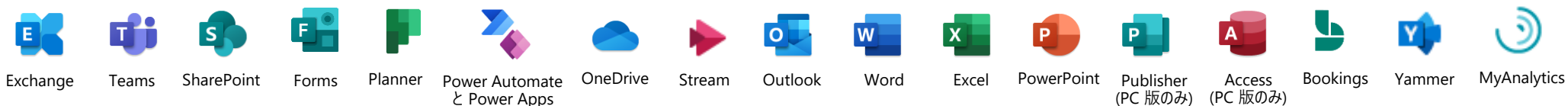
Q: これまでソフトウェアを一括で購入していたため、サブスクリプション ベースの料金体系に不安がある。
サブスクリプションが本当に必要なのかわからない。

- ▶ サブスクリプションベースのクラウド サービスは、ローカルにインストールするソフトウェアよりもお得です。たとえば、定期的な更新プログラムによって最新の機能とセキュリティ パッチを利用できるほか、キャッシュフローのニーズに合わせて月額や年額の支払いを柔軟に選択できます。

アップセルのシナリオ

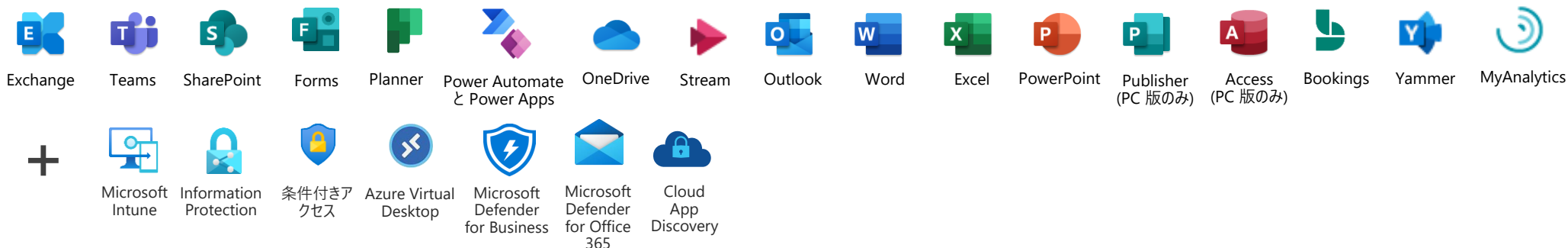
現在

Microsoft 365 Business Standard



変更後

Microsoft 365 Business Premium



目的

お客様がアップグレードすべき理由

ビジネス データの取り扱い

- ▶ セキュリティ対策に一貫性がなく、ファイルの扱いが不適切。
ドキュメントをメールで送信したり、保護されていない USB キーに保存したりしている。
- ▶ だれでも機密情報のドキュメントをダウンロードして社外に持ち出すことが可能。

デバイスのセキュリティ

- ▶ 従業員がメール チェックやファイルの保存に個人所有のスマートフォンを使用している。
- ▶ ビジネス情報にアクセスできるデバイスやユーザーを制御することが困難。

ウイルス対策

- ▶ 従業員がウイルス対策機能を一時的に無効化して安全でない Web サイトにアクセスするなど、侵害のリスクが高い。

安全なリモート アクセス

- ▶ 自宅や外出先から業務データにアクセスする場合がある。
- ▶ ソーシャルエンジニアリング攻撃でパスワードを盗み取ろうとしたり、別の国からリモートで組織のデータにアクセスしようとしていたりするなど、悪意のあるハッカーが業務情報を狙っている可能性がある。

得られる価値

Microsoft 365 Business Premium から得られる価値



エンドポイント
マネージャー

セキュアでインテリジェントな管理

Microsoft Intune と Configuration Manager により、統合管理プラットフォーム内でエンドポイント セキュリティ、デバイス管理、インテリジェントなクラウド アクションの機能を利用。既存のプロセスに影響を与えることなく、すべてのユーザー、アプリ、デバイスの保護、展開、管理をサポート。



Information
Protection

安全なデータを使ったコラボレーション

Microsoft 365 の Azure Information Protection は、不正アクセスから重要な情報を保護すると共に、データのセキュリティを強化するポリシーを適用して、安全なコラボレーションを推進。



条件付き
アクセス

PC 専用アプリの制御を設定、管理

Azure Active Directory の機能の 1 つで、特定の条件と一元的な管理により、環境内のすべてのアプリケーションにアクセス制御を適用。



Azure
Virtual Desktop

場所を選ばず柔軟に働く

どこにいてもあらゆるデバイスで Azure Virtual Desktop を利用。Windows 11 と Office 365 に完全に最適化されたソリューションにより、優れた仮想エクスペリエンスを提供。



Microsoft
Defender for
Business

次世代の保護

Microsoft Defender for Business は、中小規模企業 (従業員 300 人以下) のために特別に設計された新しいエンドポイント セキュリティ ソリューションです。このエンドポイント セキュリティ ソリューションを使用すると、会社のデバイスをランサムウェア、マルウェア、フィッシングなどの脅威からさらに保護できます。



Microsoft Defender
for Office 365

メールを保護

メール、リンク (URL)、コラボレーション ツールを介して侵入する悪意のある脅威から組織を保護。



Cloud App
Discovery

すべてのクラウド サービスのセキュリティを確保

クラウド アクセス セキュリティ ブロカー (CASB) である Microsoft Cloud App Discovery により、クラウド サービス全体における脅威を特定し対処。



Windows
Autopilot

迅速な導入

簡単な操作でどこからでもすばやくデバイスをリモート展開。従業員は新しいデバイスを受け取ってから数分でデバイスを使用可能。シンプルな展開とリモート リペア機能により、デバイスの保護、時間の節約、コストの削減、従業員の満足度の向上を実現。

適切な質問

最近、フィッシングやランサムウェアなどのセキュリティ インシデントは発生していませんか。

- ▶ 人工知能を活用して新たな脅威をリアルタイムで検出し、保護します。
- ▶ 脅威インテリジェンスのネットワーク、機械学習モデル、マルウェアやサイバー攻撃に詳しい脅威エキスパートのサポートを利用できます。

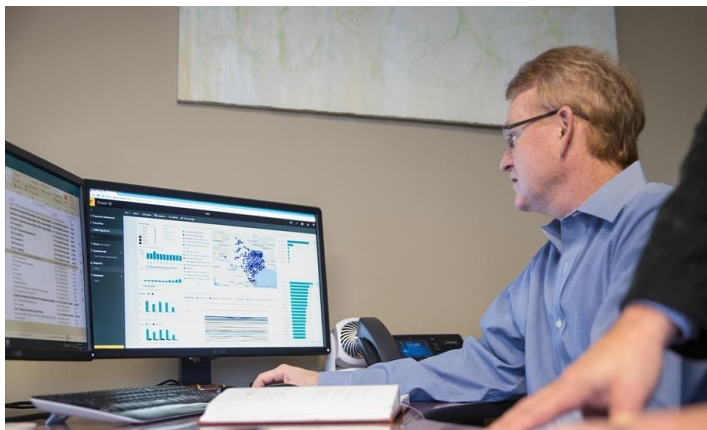
機密性の高い業務データや顧客情報の漏洩防止のためにどのような対策を行っていますか。

- ▶ データ損失防止や Azure Information Protection などの高度な機能により、顧客や従業員の個人情報、社外秘のビジネス データ、社会保障番号、クレジットカード番号などの機密データを分類、保護します。
- ▶ Microsoft 365 Business Premium では、高度な多要素認証 (MFA) と条件付きアクセス ポリシーを適用し、必要なときに必要な場所で適切なユーザーだけが必要な業務データを利用できるようにします。

現在、ソリューションにどれくらいの料金を支払っていますか。

- ▶ 有料のサードパーティのセキュリティ サービスを利用しています。
- ▶ 完全な生産性およびセキュリティ ソリューションである Microsoft 365 Business Premium は、管理と展開が容易であり、ポイント ソリューションよりもコスト効率に優れています。
- ▶ Microsoft Defender ウイルス対策は、AV-TEST、AV-Comparatives、SE Labs などの検証でトップ製品の評価を受けています。

提案のポイント: 高度なセキュリティ



サイバー脅威からの保護

ATP の安全なリンクで、安全でない添付ファイル、疑わしいリンク、フィッシング、ランサムウェアを阻止。

ATP の安全な添付ファイルで、メール添付ファイルのサンドボックス分析を行い、マルウェアを検出。

高度な多要素認証が有効。



ビジネス データを保護

機密情報を含むメールを暗号化。

Azure Information Protection で、クレジットカード番号などの機密情報の共有をブロック。

個人向けアプリへビジネス情報のコピー、貼り付け、保存を制限。

無制限の Exchange Online Archiving でメールの記録を保存する。



すべてのデバイスを保護

マルウェア対策、ウイルス対策、ランサムウェア抑制、Web およびネットワークの保護機能などにより、脅威を防いでデバイスを保護。

企業にとって最も緊急度が高く重大なリスクとなる脆弱性を優先的かつ集中的に対処。

行動ベースのアラートと、検知、調査、対処の自動化を実施。

提案のポイント: 高度なセキュリティ



デバイスの管理および保護

セキュリティ ポリシーを適用して、Windows、Mac、iOS、Android のデバイスのデータを保護。

ビジネス情報にアクセスできるユーザーとデバイスを Intune で制御。

一元的なダッシュボードから、紛失したデバイスや盗難にあったデバイスのビジネス データを削除。



安全なリモート アクセスの実現

場所を問わず安全に従業員がビジネス アプリにアクセスできるようにする。

パスワードの喪失や盗難時にも、高度な多要素認証でセキュリティを確保。

ハッカーの攻撃を防ぎながら、適切なユーザーに適切なアクセスを許可する。



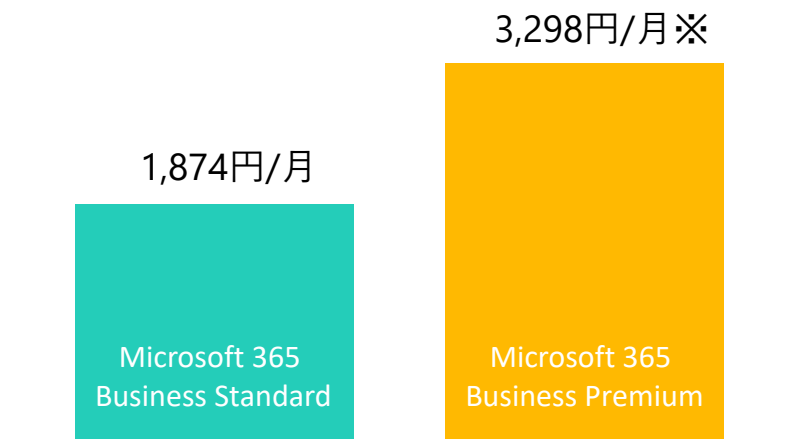
利用中のクラウド アプリ検出

Cloud App Discovery を活用し、組織内でどのようなアプリケーションが利用されているかを詳細に把握。

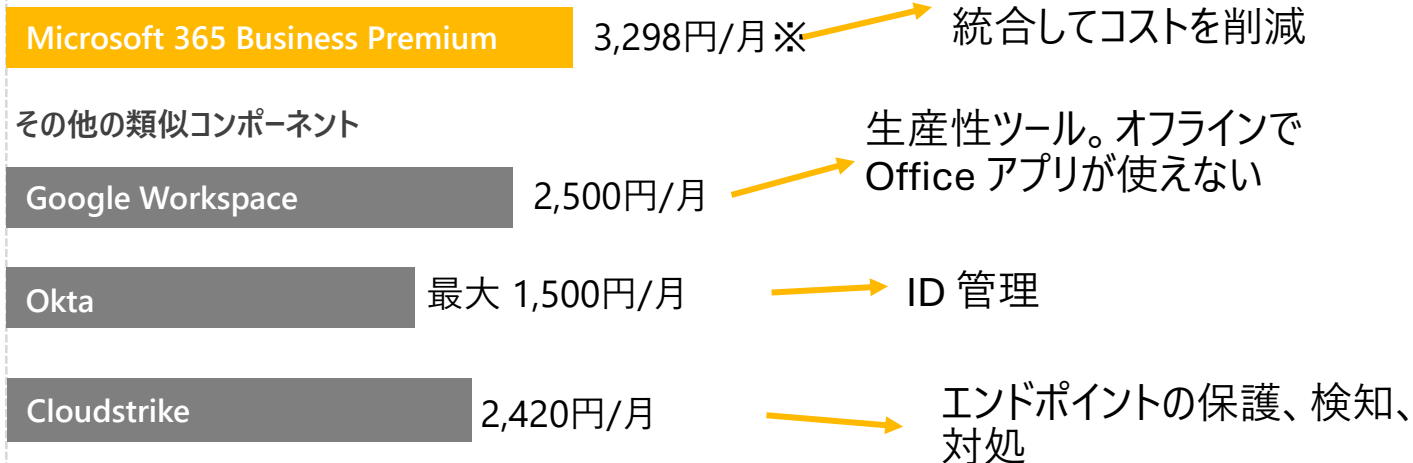
利用中のアプリが組織にもたらすリスクを把握し、従業員を教育したり、利用を制限したりするなどの対策をプロアクティブに実行可能。

料金の比較

Microsoft 365 Business Standard から Microsoft 365 Business Premium にステップアップする場合、ユーザーあたり月額 **1,424円** の増加



代替ソリューション



¹ [Google Workspace Business Plus](#) (ストレージ: 5 TB、ビデオ会議の参加人数: 500 人) - 2025 年 1 月

² [Okta](#) (シングルサインオン + 多要素認証 + ユニバーサルディレクトリ + ライフサイクル管理 + 高度なマスタリングアドオン) - 2025 年 1 月

³ [Cloudstrike Falcon Enterprise](#) (エンドポイントあたり月額: 15.42 米ドル) - 2025 年 1 月

反論への対処方法

質疑応答

新しいソフトウェアへの投資がセキュリティ侵害のコストに対して妥当か見極められない。

- ▶ 調査によると、中小企業を標的としたセキュリティ攻撃のコストは平均 14.9 万ドル¹ に上り、重大な金銭的損失を被ることになります。
- ▶ Office for National Statistics² によると、65% の中規模企業が、過去 1 年間にサイバー攻撃を受けています。
- ▶ 新たな支出に慎重になるのも当然ですが、サイバー攻撃やデータ侵害のコストは、Microsoft 365 Business Premium の堅牢なセキュリティ機能の費用をはるかに上回るおそれがあります。

マイクロソフトは、セキュリティ プロバイダーではない。

- ▶ マイクロソフトはここ数年の間に世界最大規模のセキュリティ プロバイダーとなり、年間で 10 億ドル以上をセキュリティの研究開発に費やしています。2021 年 9 月にはその額を 2 倍に増やしており、今後 5 年で 200 億ドルを投資する予定です。Gartner の Magic Quadrant において、マイクロソフトは、サイバーセキュリティに関する 5 部門でリーダーの評価を獲得しています³。
- ▶ マイクロソフトのセキュリティの価値は、次の 4 つの柱で成り立っています。
 - ・ 脅威インテリジェンス: 世界最大級の脅威観測力
 - ・ AI の活用: 高度なデータサイエンスにより、シグナルを有用なインテリジェンスとセキュリティ グラフに変換
 - ・ 専門家チーム: グローバルなサイバーセキュリティ組織が攻撃に対処
 - ・ エンタープライズ クラス: 世界最大規模の企業向けに開発されたテクノロジーを搭載

¹ [US and Canada avg recovery costs, Kaspersky Lab Report \(英語\)](#)

² [Cyber Security Breaches Survey 2021 - GOV.UK \(www.gov.uk、英語\)](#)

³ [Gartner® Magic Quadrant™ レポートにおけるリーダー評価の獲得 | Microsoft Security](#)

追加販売のシナリオ

Microsoft 365 Business Premium



Microsoft 365 Copilot

Exchange Teams SharePoint Forms Planner Power Automate と Power Apps OneDrive Stream Outlook Word Excel PowerPoint Publisher (PC 版のみ) Access (PC 版のみ) Bookings Yammer MyAnalytics

+ Microsoft Intune Information Protection 条件付きアクセス Azure Virtual Desktop Microsoft Defender for Business Microsoft Defender for Office 365 Cloud App Discovery

+ Microsoft 365 Copilot

得られる価値

Microsoft 365 Copilot で得られる価値

4,497円/月

Microsoft 365
Copilot

日常業務の生産性向上

Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Teams といった日常的な業務で利用する Microsoft 365 アプリに組み込まれ、副操縦士 - Copilot として、パイロットであるユーザーの仕事をサポートします。



ドキュメント作成の効率化

M365 Copilotは、WordやExcelなどのアプリケーションでのドキュメント作成を支援します。例えば、Wordでは文章の提案や要約を自動生成し、Excelではデータ分析を瞬時に行うことができます。これにより、報告書や提案書の作成時間が大幅に短縮されます。



メール対応の自動化

Outlook で活用することで受信したメールに対して最適な返信案を提案したり、メール内容に基づいて自動的に会議をスケジュールしたりすることができます。これにより、メール対応の負担が軽減され、迅速なコミュニケーションが可能になります。



会議の効率化

Microsoft Teamsとの連携により、会議中にリアルタイムで議事録を取る機能や、議論された内容からアクションアイテムを自動的に抽出する機能が提供されます。これにより、会議後のフォローアップが簡易かつ正確に行えるようになります。



データ分析と可視化の支援

ExcelにおけるMicrosoft 365 Copilotの利用では、複雑なデータセットから意味あるインサイトを抽出し、それを基にチャートやグラフを自動生成することが可能です。これにより、数字のまとめ直しやグラフ化、データの分析にかかる時間が大幅に削減され、より効果的な意思決定が行えるようになります。



コラボレーションの改善

Teamsでの会議中にリアルタイムで情報提供や要約を行うことができ、会議の効率を上げることができます。また、Outlookでは日程調整やメールの返信提案が自動化され、業務の迅速化が図られます。



責任ある AI の原則

公平性、信頼性と安全性、プライバシーとセキュリティ、包括性、透明性、アカウントビリティの観点でチェックされたサービス。プロンプトの内容や Microsoft Graph からアクセスできるデータ、顧客データは Microsoft 365 Copilot が使用する基礎モデルの学習には使用されません。